



サポチル訓練コースオープンセミナー

「内省的実践としての観察とは？」

～ワークディスカッションを通して観察を考える～

子どもにかかわる教育、福祉、医療の現場では、心理療法に限らず、様々な支援が行われています。心理療法が行えない場合、どのように心理職としての専門性を発揮したり、その能力を高めることができるでしょうか？

近年、国際的に「観察」に焦点が当てられています。この「観察」の大きな特徴はReflective Practice（内省的実践や振り返り）と言われています。

サポチルは「観察」の能力を高めるプログラムとして、「乳児観察」や「ワークディスカッション（WD）」を取り入れています。今回のオープンセミナーでは、観察、WD、Reflective Practiceとは何かについて、講義と事例検討を通して参加者のみなさんと学んでいきたいと思えます。どうぞ奮ってご参加ください。

9/22（日）

17:00～20:00

オンライン開催

申込締切：9月15日（日）

9月22日（日）17:00～20:00

プログラム

<講義>

橋本貴裕（サポチル訓練コース / ワークディスカッションセミナーリーダー / 帝京大学）

<事例検討>

事例提供者は当日発表

<シンポジウム>

橋本貴裕（サポチル訓練コース / ワークディスカッションセミナーリーダー / 帝京大学）

松本拓真（サポチル訓練コース / 岐阜大学）

村田朱美（サポチル関東 / 日本赤十字社医療センター）

吉岡彩子（サポチル訓練コース / 御池心理療法センター）

吉沢伸一（サポチル訓練コース・サポチル関東 / ファミリーメンタルクリニックまつたに）

<訓練コース(観察と臨床基礎コース)説明会>

司会：西村 理晃（サポチル訓練コース / 19Bloomsbury Square Psychoanalysis and Psychotherapy）

対象

臨床心理士、公認心理師、医師、看護師、保健師、教師、保育教諭、療育従事者など対人援助に従事し守秘義務を有した専門家。もしくは心理臨床の実践について学んでいる大学院生。

料金

3,000円

お申込み

Google フォームにてお申し込みください。（QRコード）

<https://forms.gle/dakZmdLQ4ZFz2miF9>

※詳細につきましては、お申込み受付後、E-mailにて順次お知らせします。
ご質問等ございましたら、<training@sacp.jp>までお問い合わせください。



サポチル会員 募集中

現在（2024年6月末時点）、専門会員 172名、賛助会員 307名、ボランティア会員 10名が、サポチルの研修プログラムへの参加をはじめ、研修会の企画運営、広報事業などに携わっています。サポチルの活動への積極的なご参加をお待ちしています。
申込方法は、Webサイト【<https://sacp.jp/>】をご覧ください。

また寄附により、子どもの心理療法を支援していただく賛助会員も募集中です。寄附は上記Webサイトからクレジットカード決済、もしくは郵便振替（一口5千円より）でお願いいたします。

みんなの協力で、子どもたちが心のケアを受けられる社会へ。



サポチル

認定NPO法人 子どもの心理療法支援会

<https://sacp.jp>

サポチルのHPはこちら！

